

近畿

近畿の景況は、個人消費が足踏みしているものの、輸出、生産活動が回復に向けた動きとなるなど、持ち直し。

個人消費は、衣料品や飲食料品を中心に大型小売店販売が減少し、乗用車販売も減少するなど、足踏み。住宅建築は、貸家が減少したものの、持家、分譲住宅が増加するなど、足許増加。設備投資は、製造業・非製造業ともに投資を積み増す動きがみられるなど、緩やかに持ち直しの動き。公共工事は、府県が増加したものの、国、独立行政法人等、市町村が減少するなど、横這い。輸出は、石油製品、鉄鋼、半導体等電子部品が増加するなど、回復に向けた動き。

生産活動は、食料品、繊維、金属製品が減少したものの、化学、石油製品、一般機械、輸送機械が増加するなど、回復に向けた動き。観光は、観光地への入込客や宿泊客が減少するなど、足踏み。雇用は、有効求人倍率が高水準で推移し、現金給与総額が増加するなど、改善。

先行きは、持ち直しの動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								